Printed in China c WG85900-1

スピーカーシステム
NX-A01 取扱説明書

ヤマハスピーカーシステムNX-A01をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

保証書別添付

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

絵表示の例

- △ 「ご注意ください」という注意喚起を示します。
- ⊘ 「～しないでください」という「禁止」を示します。
- ● 「必ず実行してください」という強制を示します。

⚠ 警告 この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

水ぬれ禁止
本機を下記の場所には設置しない。
● 浴室・台所・海岸・水辺　● 加湿器を過度にきかせた部屋
● 雨や雪、水がかかるところ　● 屋外
水滴により火災や感電の原因となります。

分解禁止
分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因となります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

プラグを抜く
下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
● 異常なにおいや音がする　● 煙がでる
● 内部に水や異物が混入した
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止
電源コードを傷つけない。
● 重いものを上に載せない　● ステープルで止めない
● 加工しない　● 熱器具には近づけない
●無理な力を加えない
芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止
あおむけや横倒しには設置しない。
本機の底面開口部に指を入れたり、ものを入れたりしない。
故障やけがの原因となります。

禁止
雷がなりはじめたら電源プラグには触れない。
感電の原因となります。

禁止
放熱のため、本機を設置するには:
布やテーブルクロスをかけない。通気性の悪い狭い所へは押し込まない。
本機の内部に熱がこもり火災の原因となります。

必ず行う
本機を落としたり、本機が破損したりした場合には、必ず販売店に点検を依頼してください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

必ず行う
必ずAC100V(50/60Hz)の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

必ず行う
電源プラグのゴミやほこりは定期的にとり除く。
ほこりがたまったまま使用を続けるとプラグがショートして火災や感電の原因となります。

必ず行う
電源プラグは、目に見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。

禁止
本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
● 水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。
●接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。

⚠ 注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

禁止
不安定な場所や振動する場所、滑りやすい場所には設置しない。
本機が落下や転倒してけがの原因となることがあります。

禁止
直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因となることがあります。

禁止
薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

禁止
ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となることがあります。

必ず行う
手入れをするときには、必ず電源プラグを抜いて行う。
感電の原因となることがあります。

禁止
ACアダプターは、布や布団でおおったり、つつんだりしない。
熱がこもり、ケースが変型し、火災の原因となることがあります。
風通しのよい状態でご使用ください。

必ず行う
この機器は、付属のACアダプターを使用する。
それ以外のものを使用すると火災の原因となることがあります。

必ず行う
電源プラグはコンセントに根もとまで確実に差し込む。
差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因となることがあります。

禁止
電源プラグを差し込んだときゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱・火災の原因となることがあります。

注意
外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、本体の電源を切り、説明に従って接続してください。

注意
環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

必ず行う
長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因となることがあります。

禁止
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。

禁止
電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

必ず行う
移動するときには、本機(または接続機器)の電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
● 機器が落下や転倒してけがの原因となることがあります。
● コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。

禁止
長時間歪んだ状態で使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

注意
側面から音が出るため、側面をふさがないでください。

注意
側面の近くにブラウン管を置かないでください。
色むらが起きることがあります。

■ 本機の特長

ワンボックスで本格的なステレオ再生を実現

高性能デジタルアンプとチタン振動板フルレンジユニット、さらにヤマハ独自の低音再生技術により、ヤマハならではの高音質を実現しています。

ワイヤレスで音楽を楽しむための BLUETOOTH 端子を搭載

別売りのBluetoothレシーバーユニット(TRX-R01BTなど)を接続することで、お手元のBluetooth対応音楽携帯電話などで再生した音楽を室内のあらゆる場所で楽しむことができます。

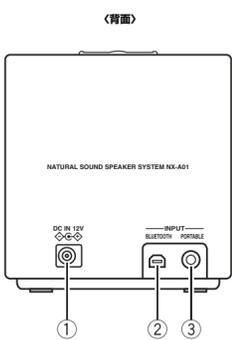
■ 付属品

同梱されている付属品をご確認ください。

AC アダプター (MU12-2120100-A1) .... 1 個
オーディオケーブル (ステレオミニプラグ) .... 1 本

■ 各部の名称と機能

〈背面〉

① ② ③

① **外部電源アダプタ端子**：AC アダプターを差し込みます。
② **BLUETOOTH*端子**：Bluetoothレシーバーユニット(別売り：TRX-R01BT など)のBLUETOOTH接続ケーブルを接続します。
③ **PORTABLE 端子**：ポータブルオーディオプレーヤーを接続します。

* Bluetooth™はBluetooth SIGの登録商標であり、ヤマハはライセンスに基づき使用しています。

〈上面：コントロールボタン〉

④ ⑤ ⑥ ⑦

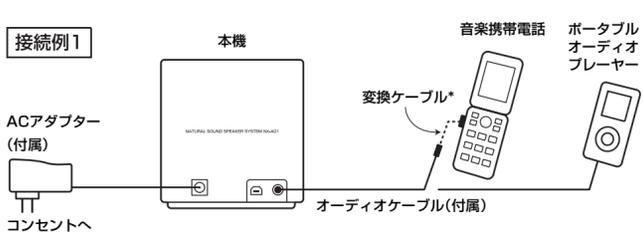
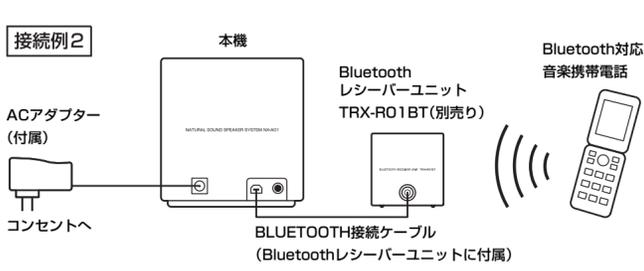
④ **STANDBY/ON**：本機の電源(オン／スタンバイ*)を切り替えます
⑤ **ステータスインジケーター**：本機の状態を知らせます。
⑥ **VOLUME ∧/∨**：音量を調節します。音量が最大のときに∧を押した場合や、音量が最小のときに∨を押した場合は、ステータスインジケーターが短く消灯します。
⑦ **MUTE**：消音します。消音を解除するには再度MUTEを押すか、VOLUME ∧/∨を押します。消音中はステータスインジケーターが点滅します。

* スタンバイとは、ACアダプターが本機とコンセントに接続されていて、本機の電源スイッチが切れている状態をいいます。このとき、本機は少量の電力を消費しています。

■ 接続する

本機には、BLUETOOTH端子とPORTABLE端子の2種類の入力端子があります。ご使用の目的に応じて、下記の接続例のように接続してください。

ご注意

AC アダプターの接続は必ずすべてのケーブル接続が完了してから行なってください。

* 音楽携帯電話用の 3.5mm ステレオミニジャック⇔平形プラグ変換ケーブルは本機には付属していません。

■ 再生する

接続する機器によって再生操作が異なります。ご使用の目的に応じて、下記のいずれかの操作を行なってください。大きな音が出る可能性がありますので、音量にご注意ください。

ポータブルオーディオプレーヤーの音声を再生する

1 STANDBY/ON を押し、本機の電源をオン(LED 点灯)にする。
2 ポータブルオーディオプレーヤーで再生を開始する。
再生操作などについて詳しくは、ご使用の機器に付属している取扱説明書をお読みください。

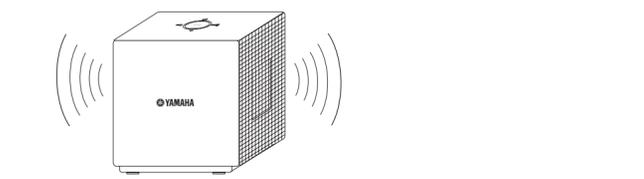
Bluetooth レシーバーユニット(別売り：TRX-R01BT など)で受信している音声を再生する

Bluetooth レシーバーユニットとペアリングされた携帯電話などで再生を開始する。
再生操作などについて詳しくは、ご使用の機器に付属している取扱説明書をお読みください。
本機に接続した Bluetooth レシーバーユニットが音声を受信すると、本機の電源が自動的にオン(LED 点灯)になり、音声が出力されます。

ご注意

- 接続したBluetoothレシーバーユニットのペアリング中に本機の電源を切り替えないでください。
- AC アダプターのプラグを抜き差しすると、本機の音量は初期状態に戻ります。

💡

- PORTABLE端子とBLUETOOTH端子から同時に音声が入力された場合、本機はBLUETOOTH端子から入力している音声を出力します。
- ポータブルオーディオプレーヤーの音声を再生中にBLUETOOTH端子から音声が入力された場合、本機の入力は自動的に BLUETOOTH 端子に接続された機器に切り替わります。
- PORTABLE 端子と BLUETOOTH 端子から入力される音声の音量は個別に調節できます。
- 本機はステレオスピーカーです。ステレオ音声を出力する際は、YAMAHAロゴを視聴位置に向けると左右のスピーカーの出力音声をバランスよくお楽しみいただけます。

■ ステータスインジケーター(LED)表示一覧

LED 表示	本機の状態
点灯	電源がオンの状態
消灯	スタンバイ(Bluetooth接続待ち)またはACアダプターが接続されていない状態
点滅(1 秒毎)	消音中の状態
点滅(高速)	何らかのエラーが検出され、保護回路が作動している状態 (いったんACアダプターのプラグを抜き、しばらくしてから再度差し込んでください。)

■ トラブルシューティング

ポータブルオーディオプレーヤーで再生操作を行なっても、スピーカーから音が出ない

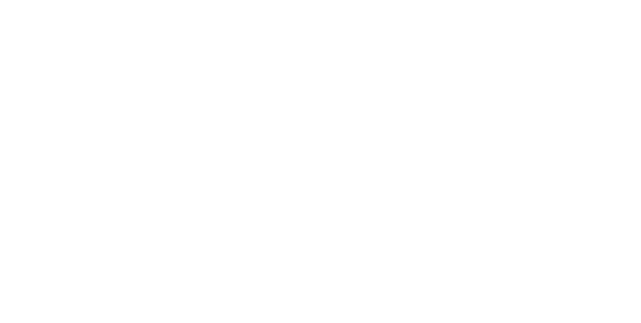
下記を確認してください。
- 本機とポータブルオーディオプレーヤーが正しく接続されているか
- 本機またはポータブルオーディオプレーヤーの音量が最小になっていないか

Bluetoothレシーバーユニット(別売り：TRX-R01BTなど)で受信している音声がスピーカーから出ない

下記を確認してください。
- 本機とBluetoothレシーバーユニット(別売り：TRX-R01BTなど)が正しく接続されているか
- 本機の音量が最小になっていないか
- Bluetoothレシーバーユニット(別売り：TRX-R01BTなど)および音声を送信している機器(携帯電話など)のBluetooth接続が正しく確立されているか
→Bluetoothレシーバーユニットや携帯電話に付属の取扱説明書を参照し、確認してください。

■ 仕様

型式 .... 1Box 対向ステレオ型
スピーカーユニット .... 3 cm チタン振動板フルレンジ
再生周波数帯域 .... 90 Hz ～ 20 kHz
出力 .... 4 W × 2
入力感度 .... 200 mV
最大許容入力 .... 2.0 V
電源電圧／周波数 .... 100V(50/60Hz)
消費電力 .... 8 W
待機時消費電力 .... 0.8 W(TRX-R01BT 接続時)
外形寸法(幅×高さ×奥行き) .... 84 × 89 × 84 mm
質量 .... 310 g

※仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

製品の機能や取扱いに関する情報は、下記のホームページからも入手することができます。

http://www.yamaha.co.jp/audio/

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

製品の機能や取扱に関するお問い合わせは、お客様ご相談センターにご連絡ください。

お客様ご相談センター
TEL (0570) 01 – 1808(ナビダイヤル)
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。
TEL (053) 460 – 3409

FAX (053) 460 – 3459
住所 〒430-8650
静岡県浜松市中沢町 10-1

ご相談受付時間 10:00～12:00, 13:00～18:00
(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

〒430-8650 浜松市中沢町10-1
ヤマハ株式会社